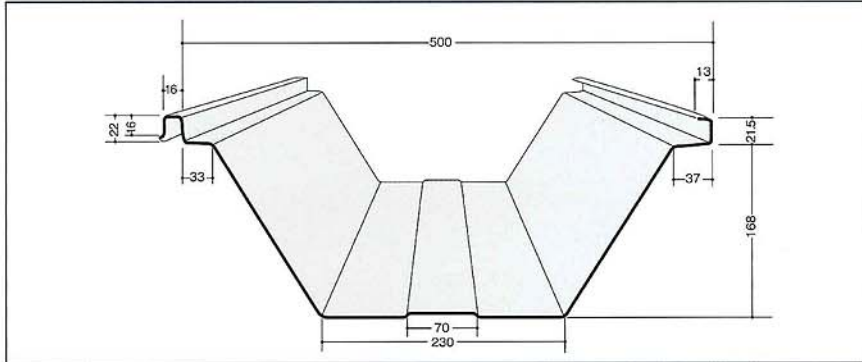


V-II型500

自然の環境に見合うダイナミックな風景
工場、倉庫、体育館など大型建物の屋根に美しくフィットします。

■断面形状



■使用材料

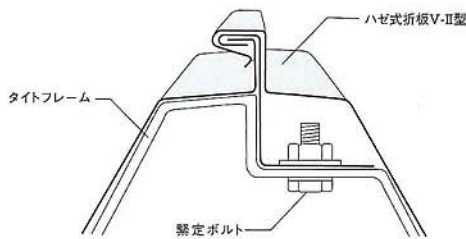
使用原板	板厚 mm
カラー亜鉛鉄板	0.6~1.0
塩ビ鋼板	0.6~1.0
フッ素樹脂鋼板	0.6~1.0
ガルバリウム鋼板	0.6~1.0
耐候用アルスター鋼板	0.6~1.0

■設計参考仕様

使用原板幅	762mm
働き幅	500mm
m ² 当り必要m数	2m
勾配	1/100以上可能
曲げ率半径	200mm以上
裏打ち材	裏面の断熱材一覧を参照

■締結部

(伝導シーマー使用)

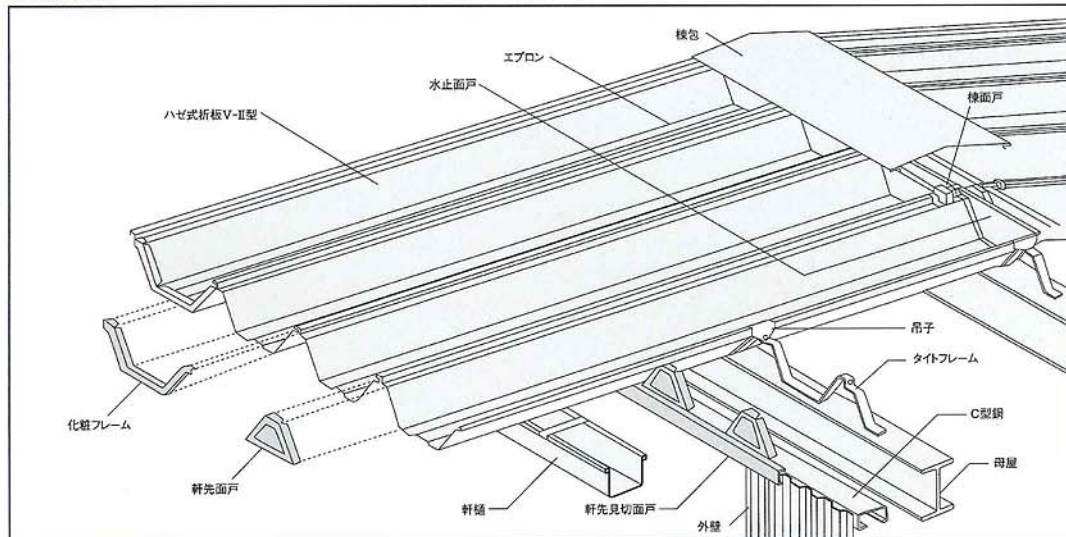


■断面性能表(参考)

板厚 mm	単位重量		断面2次モーメント	断面係数
	kg/m	kg/m ²	1×cm ⁴ /m	Z×cm ³ /m
0.6	3.82	7.64	338.7	31.9
0.8	5.02	10.04	451.1	42.2
1.0	6.21	12.42	563.2	52.9

※重量は亜鉛鉄板ベース

■構成図



■許容スパン(参考)

連続梁 $\frac{W}{\ell}$

$$\delta = \frac{3W\ell^4}{384EI} \leq \frac{\ell}{300}$$

$$\sigma = \frac{W\ell}{8Z} \leq 1400\text{kg/cm}^2$$

単純梁 $\frac{W}{\ell}$

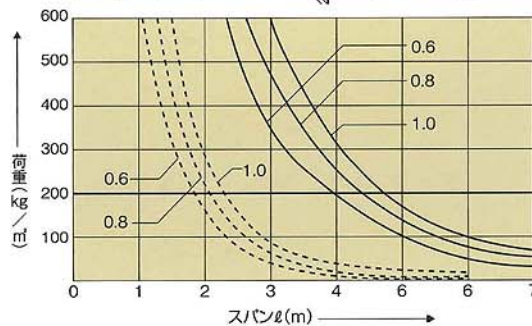
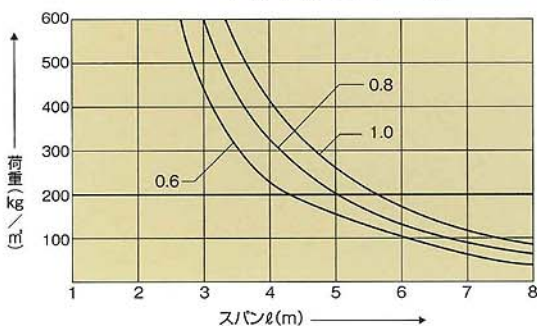
$$\delta = \frac{5W\ell^4}{384EI} \leq \frac{\ell}{300}$$

$$\sigma = \frac{W\ell}{8Z} \leq 1400\text{kg/cm}^2$$

片持梁 $\frac{W}{\ell}$

$$\delta = \frac{W\ell^4}{8EI} \leq \frac{\ell}{200}$$

$$\sigma = \frac{W\ell}{2Z} \leq 1400\text{kg/cm}^2$$



V-II型500

二重折板屋根 インシュレーション工法

冷暖房費の軽減

◎上葺折板と下葺折板の間に断熱材をサンドイッチ状に充填または敷き詰め、室内や外からの熱エネルギーをカットしますので、室内は一定の温度が保たれ、冷暖房システム費の軽減に役立ちます。

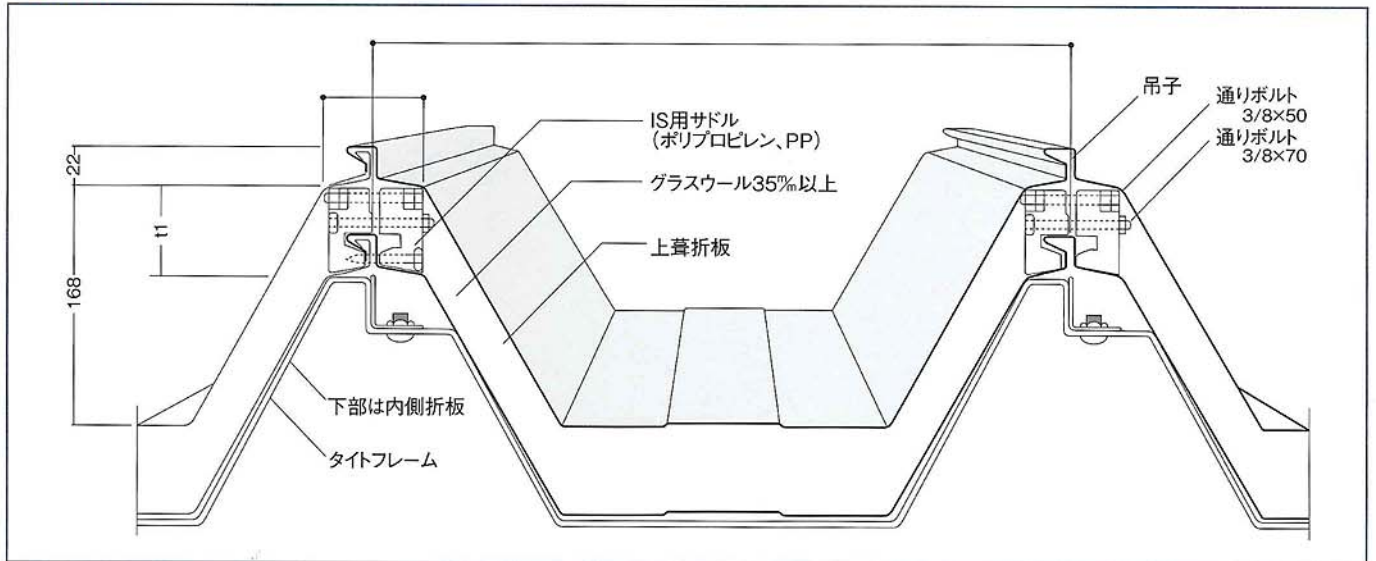
天井面はそのまま活用

◎下葺折板の天井側はそのまま活用できます。

用途

食品、保冷工場、倉庫、
製紙工場、化学工場、
精密機械工場、機械工場
紡績工場、空調を必要とする工場の屋根

■断面形状



■熱貫流率 K(Kcal/m²h²c)

※計算値

使用断熱材	t=(mm)	熱量流率(K)
グラスウール (10kg/m ² 100mm)	30	※ 1.09
又は (16kg/m ² 100mm)	40	※ 0.85
	50	※ 0.79
	60	※ 0.59
	100	※ 0.37

■熱伝導率の値

	ai
上向き(天井など)	10
水平(壁など)	8
下向き(床など)	6

■付属部材

タイトフレーム		吊子	軒先面戸	換気面戸	水止面戸
<p>V-II型用 (2連)</p>					
		<p>インサート</p>	<p>軒先見切面戸</p>	<p>換気見切面戸</p>	<p>エブロン</p>
<p>妻用フレーム</p>	<p>化粧フレーム</p>	<p>ケミカル面戸</p>			